

## 銘柄分析レポート：会計ソフトの会社

### 1 はじめに

中小型株に関しては、今年 2 月より下降トレンドです。

そんな中、株価の割安な銘柄も散見されるようになり、「何か買ってみたいな」と思われている方がいらっしゃるかもしれません。

しかしながら、具体的に銘柄を選ぼうとすれば、何かと難しい状況に思えます。

まず 2019 年 10 月に予定されている消費税増税の影響を受けそうな、個人消費関連は買いづらいです。今回ばかりは、駆け込み需要をはやす声もあまり聞かれませんが。

さらに 2020 年の東京オリンピックが終われば、建設関係の需要も一段落します。この分野は裾野が広く、資材メーカーなどにも影響が及びそうです。

また好不況の波を避けられない資本主義社会の宿命により、世間が再び不景気に突入すれば、景気循環株の大半は現行の利益水準を保つことが困難になります。赤字に転落してしまう企業が出て不思議ではないでしょう。

不況下では銀行が手のひらを反すため、営業 CF のマイナスが続いている会社や多くの有利子負債を抱えている企業は苦境に追い込まれます。

一方で不況抵抗力を備えている会社は、未だに株価が割高です。不況は弱気相場を伴い、弱気相場では、株という株が売られるため、投資家心理次第で大幅に値を下げそうな銘柄はとて怖くて買えません。

結局「あれもダメ、これもダメ」で、好ましい投資対象がなかなか見つからないのです。

こんな感じで「困ったな。レポートのネタがない」と頭を抱えている状況にて、ふとある銘柄群が浮かんできました。

それは会計ソフトの会社です。このビジネスは不況下でも一定のストック型収益を見込めますし、消費税増税に合わせた更新という“おこぼれ”を頂戴できる立ち位置にあります。

少し前置きが長くなってしまいましたが、今回の銘柄分析レポートでは、会計ソフトを主力事業としている会社を取り上げました。